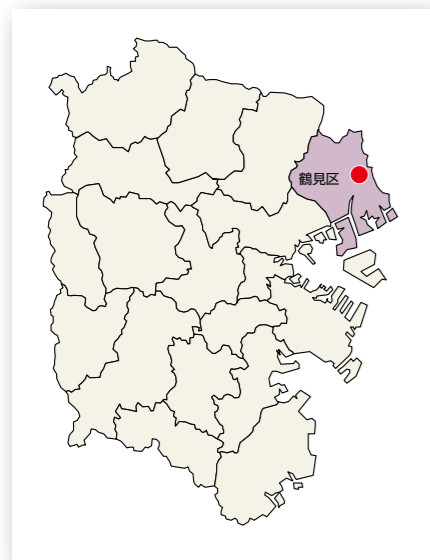


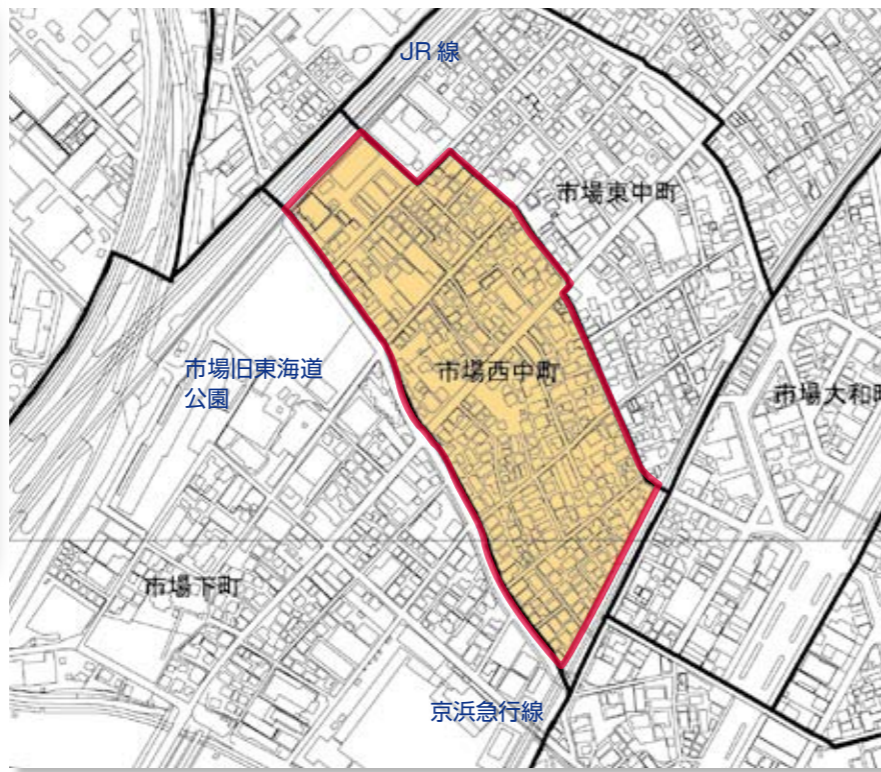
# 2. 市場西中町地区

地域のシンボルである  
歴史的資源を活かしたまちづくり

●位置図



●区域図



●地域特性

南北をJR線と京浜急行線に、東西を川崎市と鶴見川に囲われた平坦地。旧東海道の街道筋を中心に発展してきた歴史的、下町的な雰囲気を残した地域である。一方で、公園等のオープンスペースや緑が少なく狭い道路や屈折した路地が多く、狭小敷地や未接道敷地、現在の耐震基準を満たしていない木造住宅も多く現存している。

いえ・みち まち改善事業対象地域  協議会エリア

●地区諸元

協議会名	鶴見区市場西中町まちづくり協議会
協議会エリア面積	6.1ha
人口	約 1,300人 (H17国勢調査結果より集計・推計)
役員	会長 1名 副会長 1名 事務局長 2名 会計 1名 会計監査 1名 代表委員 35名
組織体制・メンバー構成の概要	3部会を設置 いえづくり部会（耐震診断・耐震改修の促進、空家の対応） みちづくり部会（狭い道路の拡幅の促進、私道の舗装化の推進、歩道整備の促進） まちづくり部会（広場整備の推進、ゴミの取扱とペット対策） 現在は、テーマに応じたプロジェクトチームを結成して活動（道しるべプロジェクト、広場プロジェクト、災害対策プロジェクト）
プラン名	鶴見区市場西中町 防災まちづくり計画

●経緯

H15.11	勉強会を始める
H16.11	まちづくり協議会を設立
H17.5～12	ヨコハマ市民まち普請事業に参加
H17.11	地域まちづくりグループ登録
H17.12	「防災まちあるき」実施
H18.1	地域まちづくり組織として認定
H18.10～1	防災まちづくり計画の検討
H19.2	防災まちづくり計画（案）の配付と意見募集
H19.7	臨時総会において、防災まちづくり計画の承認
H20.1	地域まちづくりプランとして認定
H20.3	地下道の照明、壁面の改善
H20.4	住宅市街地総合整備事業に着手
H20.12	耐震改修等の説明会・相談会の実施
H21.2	小広場①用地の取得
H21.4	定期総会において、防災まちづくり計画変更の承認
H21.6～9	小広場①整備案についてワークショップ開催（6回）
H21.12	市場旧東海道公園の道路の歩道整備
H22.11	未舗装道路（私道）の舗装整備
H23.3	小広場①のオープン（市場西中町きらきら公園）
H23.3	小広場②用地の取得
H23.10	通り名看板の設置（18箇所）
H24.1	小広場②整備の検討

## 活動内容（活動成果）

- 平成15年11月から勉強会を開始、翌16年11月に協議会を設立。「防災まちあるき」を実施し、ワークショップの開催（3回）を経て、防災まちづくり計画の検討・作成を行った。
- 防災まちづくり計画の検討をきっかけとして、市場旧東海道公園の道路の歩道整備について「ヨコハマ市民まち普請事業」に応募。2次コンテストは辞退したが、これをきっかけに歩道が整備された（土木事務所整備）。22年1月にはオープニングセレモニーを実施した。
- プラン認定をきっかけに、地下道の照明の増設、壁面の再塗装など、環境改善が図られた。（土木事務所整備）
- 東京都台東区根岸に事例視察に行き、公園整備や地域の活動について勉強を行った。（平成20年11月）
- 小広場①について、協議会から土地所有者への働きかけをきっかけに、市が用地（約330㎡）を取得した。その後、この用地の公園整備に向けたワークショップを開催し（6回）、市へ整備案の提案を行った。整備にあたっては、防災性に配慮した防水水槽やかまどスツールを整備するとともに、公園名称の選定（市場西中町きらきら公園）や子供会で募集した絵を子どもたち自らコンクリートベンチにペイントするなど、地域活動と連携して手作り感があり親しみのある公園を整備した。
- また、公園愛護会を結成し、公園の維持管理に努めている。
- 小広場②について、市が用地（約130㎡）を取得し、公園整備案について市と検討を行った（23年度中に2回）。
- 防災まちづくり計画にもとづき、未舗装道路（私道）について市の私道整備助成制度を活用した道路整備（22年11月）や地区内の通り名の決定と看板作成・設置（18箇所）を行った（23年10月）。
- まちづくり協議会ニュースを定期的に発行し、協議会活動の広報・啓発を行っている。

## 活動の中の工夫点

- 防災的な取り組みだけでなく、ゴミ出しのマナーの向上やペットの糞尿問題についても取り組んでいます。
- 協議会の自主性を重んじて、活動を進めています。



公園整備のワークショップの状況



私道整備



通り名の設置



公園のコンクリートベンチ（子供がペイント）



小広場①（市場西中町きらきら公園）



# 鶴見区市場西中町 防災まちづくり計画

地域のシンボルである  
歴史的資源を活かしたまちづくり

## 計画の目標・方針

### ■ 計画の方針

災害に強く、安心して住み続けられる住環境づくりを目指す。

#### いえづくりのルール

- 地震に強い家を増やすと共に、空家を減らします。
- 魅力あふれる、西中町らしい景観を創り出します。

#### みちづくりのルール

- 狭あい道路を拡幅し災害時の避難ルートを確認します。
- 歩行者にやさしい安全、安心な道を創り出します。

#### まちづくりのルール

- 緑あふれる潤いのあるまちを目指します。
- 共に助け合う暮らしのルールも創ります。

## Topics

- エリアの中央を旧東海道が通っていて、一里塚があり、街や地域のシンボルになっています。
- 市場旧東海道公園前の道路の歩道整備についてまち普請事業に提案・挑戦しました。

一里塚



旧東海道



代表委員会会議の様子



台東区根岸への視察の様子

## 計画内容の概要

### ■ 歴史的資源を活かしたまちづくり

歴史的資源（旧東海道）は地区のシンボルでもあり、隣接する旧東海道公園は、他に広場の無い地区の重要なオープンスペースともなっている。公園前道路の歩道整備や一里塚広場の整備など、歴史的資源は防災まちづくりにも活かされている。

#### ● 広場（小公園）の整備

1.広場（小公園）を整備する

□まちの現状と課題  
地区内では、住宅が建て替わっているが、旧東海道公園以外の広場がない。災害時の一時避難の場や、身近な遊び場やイベントの場が欲しい。一里塚広場は、定期的な草刈りやメンテナンスが必要となっている。また、旧東海道公園の利便性は多いが、道路に路上駐車が多く、通行の危険がある。

■解決の為に  
①現状、駐車場等の空地の部分を広場を整備する  
□広場  
・石段の再整備や舗装の更新を行いリニューアルを図る。（一里塚広場）  
・緑の多い、昔の雰囲気を残しつつ緑のプラトを創出する。  
・将来的に、周辺の緑や一里塚の景観を損なわないように、地下に防火水槽を設置する。  
・手押しポンプを設置する。  
・坂東や緑地を積極的に整備する。  
・広場の整備と一体的に駅内広場を整備する。

②緑化管理委員会を立ち上げる  
・緑化管理委員会を設立し、広場の維持管理や駅内の公共施設の緑地等を管理する。  
・会員も景や空気に緑化や草花を積極的に植え、経営から西中町を守り育てる。

③駐車場の整備  
・旧東海道公園前の路上駐車を無くす。駐車場を設ける。  
・広場の整備と共に、駅内広場利用スペースを設ける。

#### ● みちづくりのルール 歩道の整備

2.歩道整備部会を立ち上げ歩道の整備を促進する

□まちの現状と課題  
「ゆづる」へいたる道路は歩行者の通行が多いが、歩道が無く危険である。また、旧東海道は市場地区の部分で未整備な上、交通量が多く危険な状態である。

■解決の為に  
①旧東海道公園前道路  
・「ゆづる」にいたる、緑豊かな両側歩道をつくる。  
②旧東海道  
・合意形成やルールを検討し実現を図る。  
③歩道整備部会を立ち上げる

★平成17年度「ヨコハマ市民まちづくり事業」において設置した構想図

（「鶴見区市場西中町 防災まちづくり計画」より）

## 計画図



（「鶴見区市場西中町 防災まちづくり計画」より）